

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

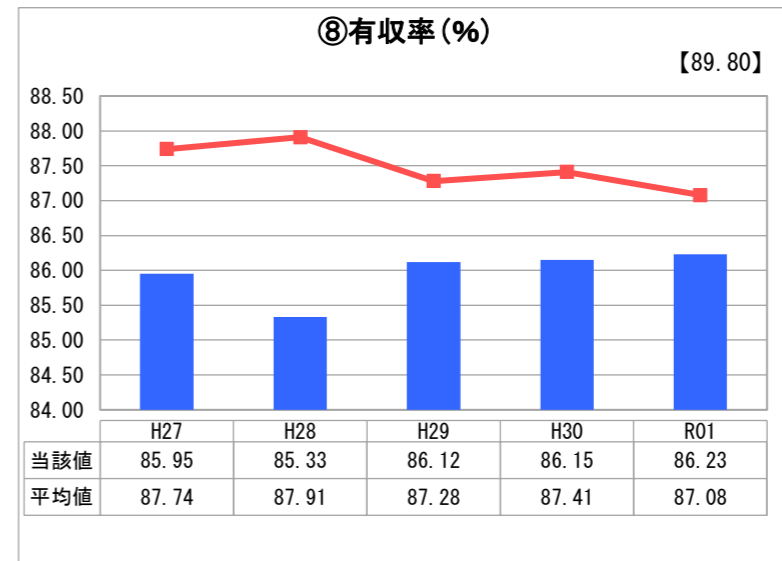
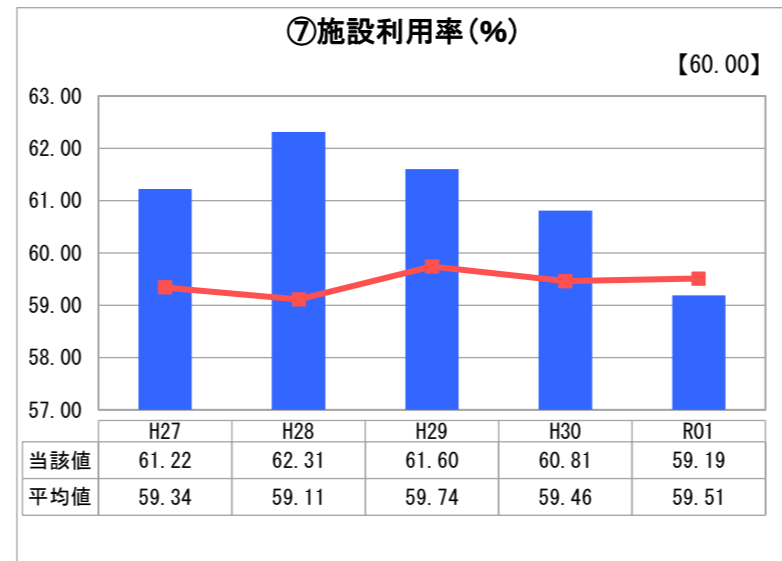
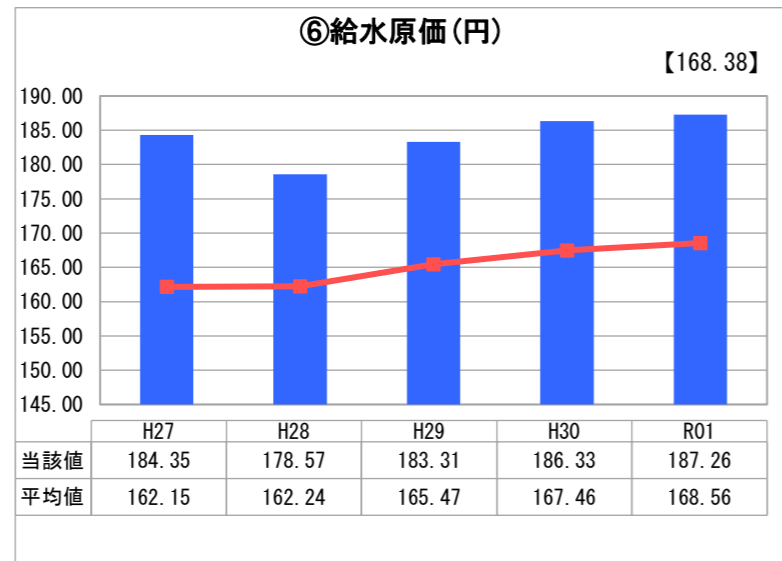
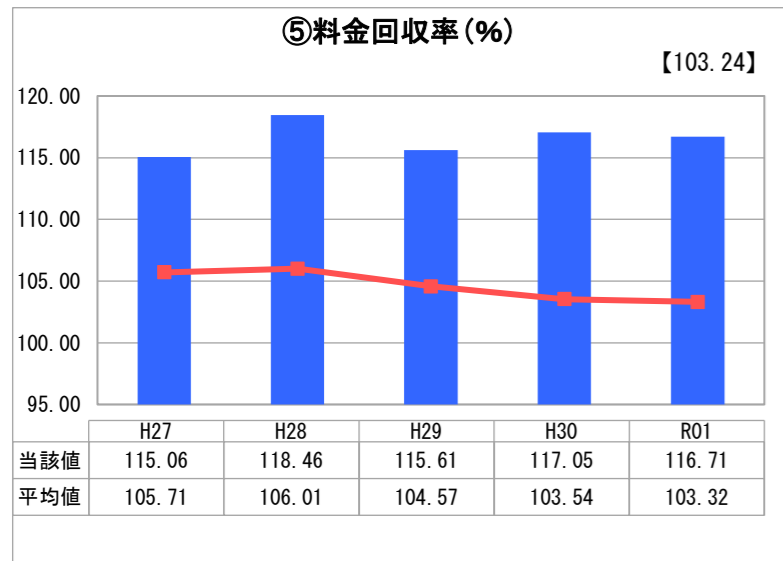
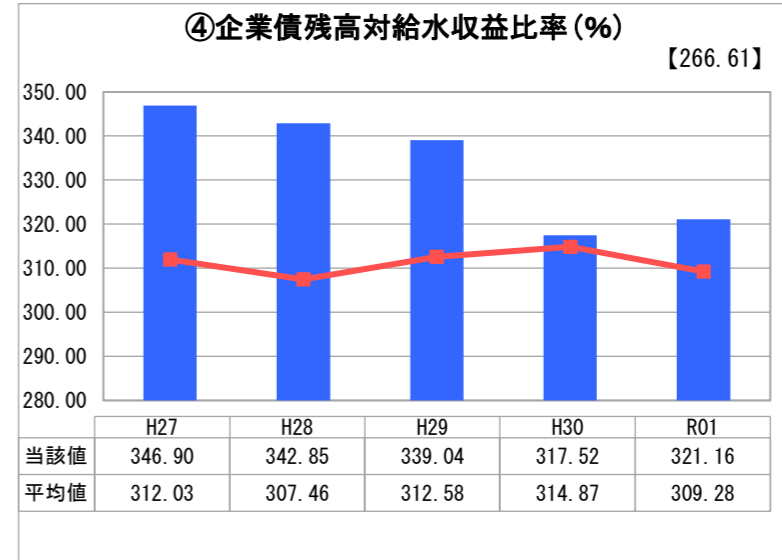
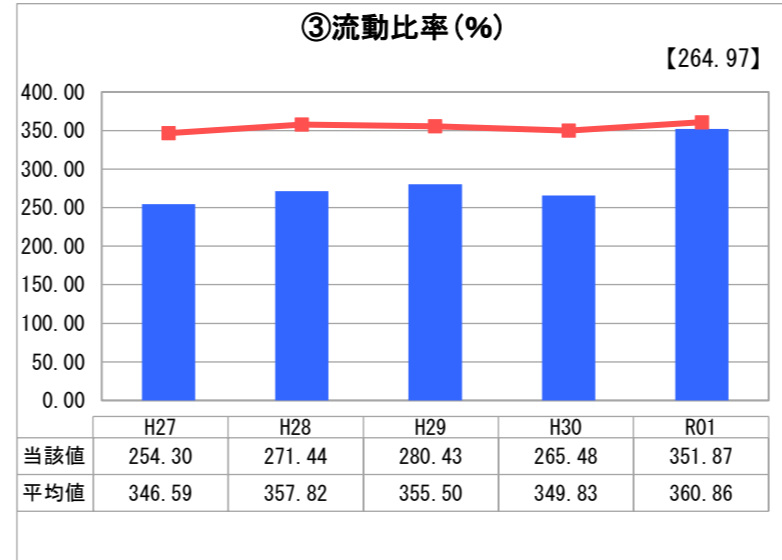
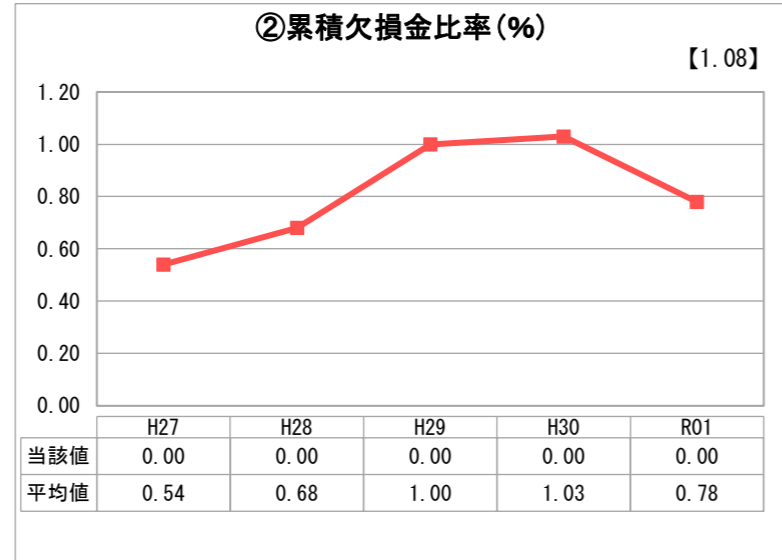
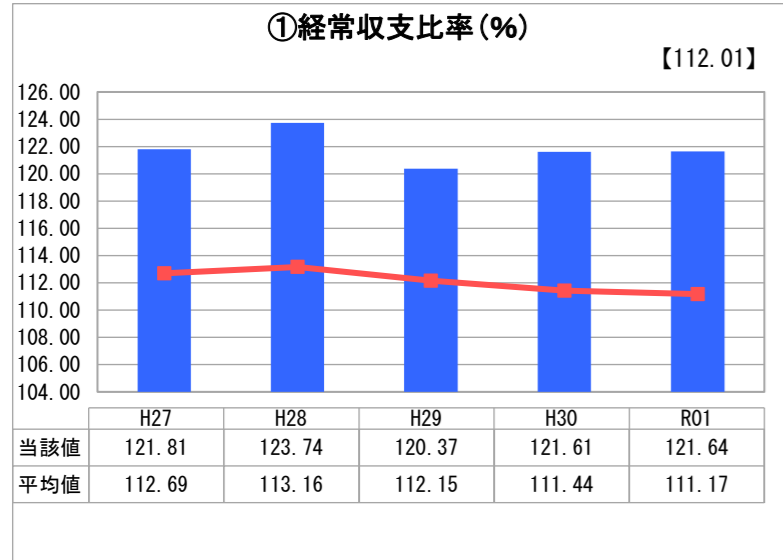
宮城県 塩竈市

| 業務名        | 業種名          | 事業名     | 類似団体区分                          | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|---------------------------------|--------|
| 法適用        | 水道事業         | 末端給水事業  | A4                              | 非設置    |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円) |        |
| -          | 63.18        | 100.00  | 3,608                           |        |

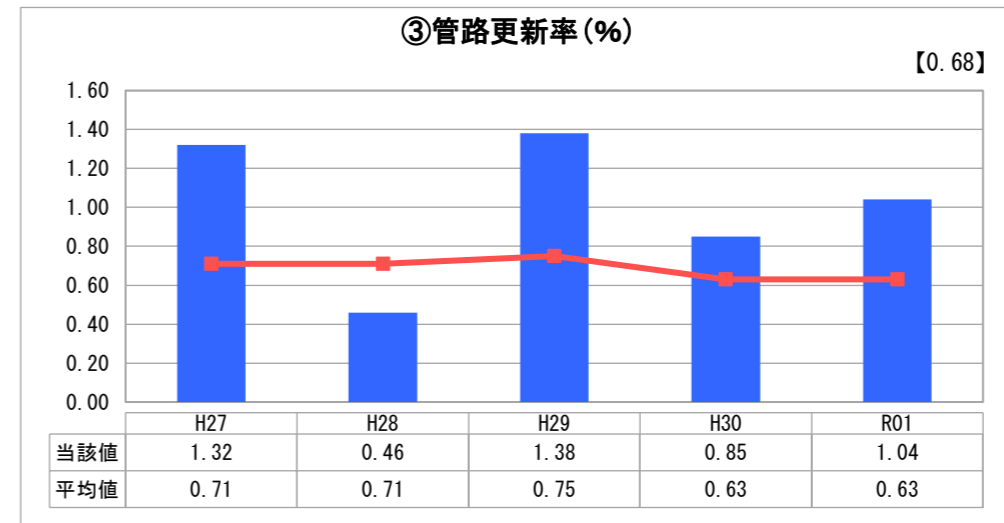
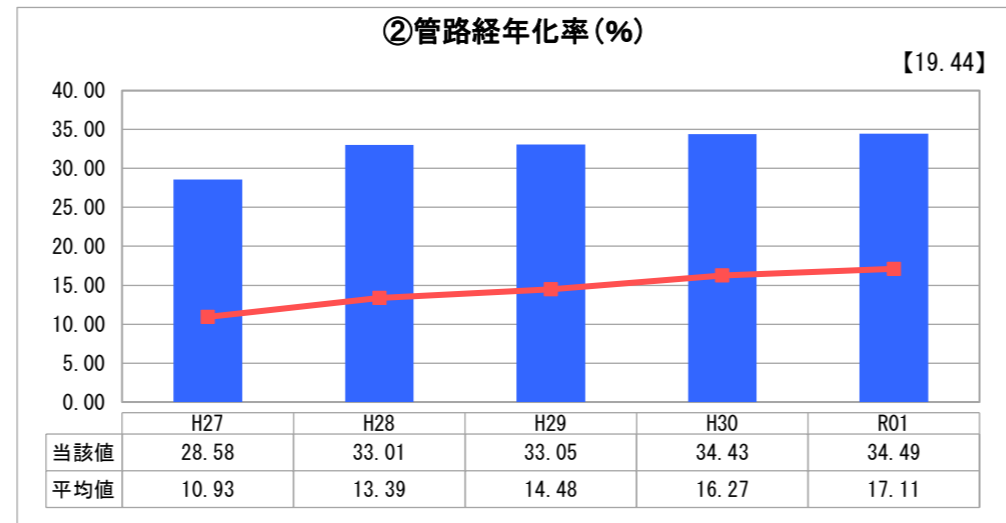
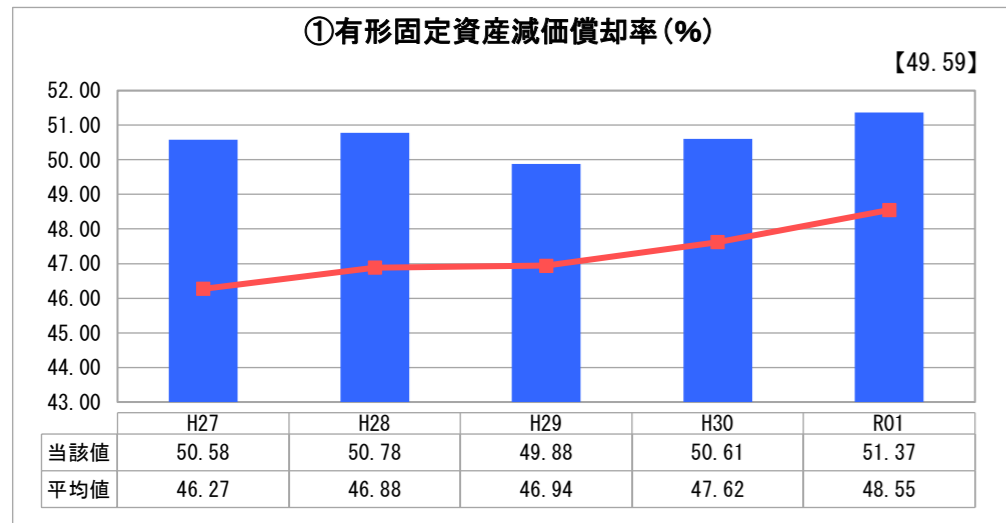
| 人口 (人)     | 面積 (km <sup>2</sup> )     | 人口密度 (人/km <sup>2</sup> )   |
|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 53,975     | 17.37                     | 3,107.37                    |
| 現在給水人口 (人) | 給水区域面積 (km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> ) |
| 59,902     | 18.60                     | 3,220.54                    |

| グラフ凡例 |               |
|-------|---------------|
| ■     | 当該団体値 (当該値)   |
| —     | 類似団体平均値 (平均値) |
| [ ]   | 令和元年度全国平均     |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っており、健全な経営状態といえますが、施設の老朽化対策及び人口減少並びに給水収益減少の影響を考慮し、今後さらなる費用の縮減に努めていく必要があるといえます。

② 累積欠損金は発生しておらず、健全な経営状態であるといえます。

③ 流動比率は、100%以上を維持しており、短期債務に対する支払い能力は十分にあるといえます。

④ 企業債残高対給水収益比率は、給水収益の減少により、昨年と比較し増加しています。今後も給水収益が減少することを考慮し、企業債の発行を抑えることで企業債残高を減少させていく必要があります。

⑤ 料金回収率は、100%を上回っており、事業運営に必要な経費を料金収入にて賄うことができています。

⑥ 給水原価は、有収水量が148千m<sup>3</sup>減少したことにより0.93ポイント増加しています。また、類似団体平均値を上回る水準となっているため、今後も事業の効率化を行い費用を抑えていく必要があります。

⑦ 施設利用率は、1日平均配水量が543m<sup>3</sup>減少したため、昨年より大きく減少しています。今後給水人口の減少及び水需要の動向を踏まえ、施設のダウンサイジングが必要と考えています。

⑧ 有収率は、昨年と同程度ですが、類似団体と比較し平均値を大幅に下回っているため、今後も計画的な配水管の更新と漏水防止対策を進めていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却費は、類似団体平均値を上回っており、類似団体と比較し、老朽化が進んでいる状態といえます。

② 管路経年化率は、類似団体平均値を大きく上回っており、類似団体と比べて大幅に老朽化が進んでいる状況といえます。

③ 管路更新率は、昨年と比較し増加しています。類似団体平均値と比較しても上回っていますが、管路経年化率の数値のとおり、管路の老朽化が進んでおり、今後も管路更新を行っていく必要があります。

## 全体総括

本市水道事業の財政状況は、経常収支比率及び流動比率並びに料金回収率に表れているとおり、概ね良好な状況となっています。その反面、有形固定資産減価償却率や管路経年化率が上昇傾向にあり、類似団体と比較して必要な更新投資が不足していることが表れています。

老朽施設の更新において、人口減少及び社会動態の変化に合わせたダウンサイジングを図り、また、給水収益の減少を考慮し将来の負担を縮小するため、企業債の発行額を抑えた効率的な施設更新が必要となっています。